

なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠

No.35

2学期中間試験を振り返ろう

2学期中間試験の結果はどうでしたか？ 試験で試した内容は、すべて授業で学習したものでした。問題の出題方法が難しいのか、授業の内容がしっかり定着していないのか、学年全体の正解率が64%という、少し厳しい結果になりました。

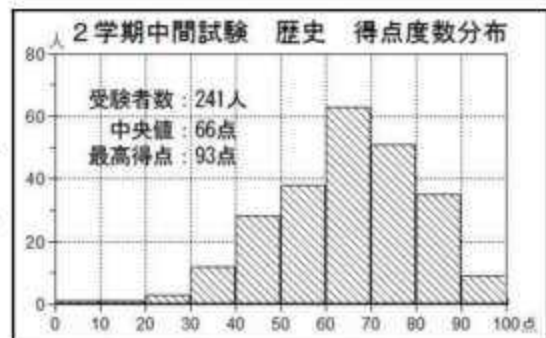
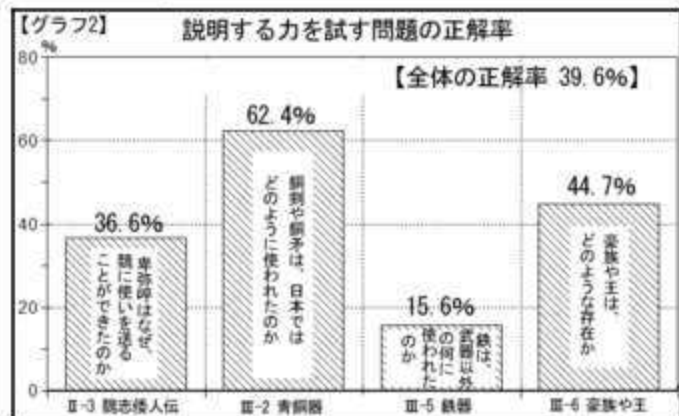
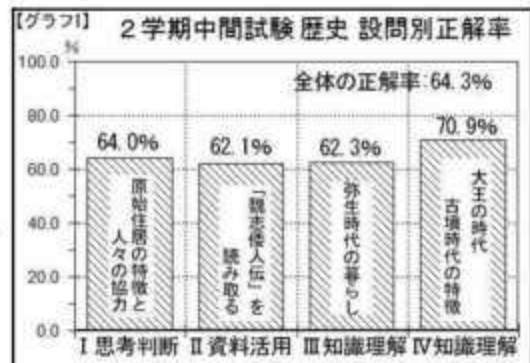
今回の試験では、これまでと異なり、「課題作文」はありませんでした。その代わりに、自分で文章を書いて説明する問題を4問出題(計26点)しました。「説明文を書く問題」の正解率は39.6%(グラフ2)でした。

それに対して、「専門用語」を答えるだけの短答式問題(計74点)の正解率(73.1%)は高く現れました。

では、「説明文を書く問題」にしっかり対応するための学習方法はあるのでしょうか。あります。それは、「覚えるのではなく、自分なりに考えて、なぜそうなるのか、どのように説明すると自分は納得したり、他の人に説明できるのか、と考えること」を普段の授業や、家庭での学習場面ですることです。

また、教科書の記述内容を理解することを目指して、ていねいに読むことを心がけて下さい。覚えるだけでは定着しません。

そして、教科書や参考書や本などに書かれていることを正確に理解するだけではなく、「不思議、疑問」を感じる所まで読み込むことが大切です。「なんでそうなるの?」と感じ始めた時に、初めて学習内容と自分が向き合うことになります。これは忘れません。「疑問」を感じる一つのヒントとして「なんでやねん」を発行しているのので、ぜひ、教科書の学習内容と対比しながら読んで下さい。



今回の中間試験で正解率が低かった問題。ここがポイントだった

Iの(3)では、竪穴住居の特徴(住み心地)をたずねています。写真でも分かるように全面的に土でおおわれていますから、風通しはとても悪く、ジメジメしていたことが想像できます。なので、「つじつまのあわない」のは「エ」ということになります。

Iの(4)では、竪穴住居を建てる作業についてたずねています。縄文時代や弥生時代では、食料生産だけでなく、ありとあらゆることを手作りしなければならないので、日常生活は働きづめでした。なので、「つじつまのあわない」のは「オ」です。

Iの(5)では、竪穴住居の建設と人々の協力関係をたずねています。2～3人で建てられるような簡単な建物ではありません。むらの人々の協力がなければ、竪穴住居は建てることができなかつた。なので、「つじつまのあわない」のは「ア」です。

IIの(3)では、「稲作」が大陸から移住してきた人たち(渡来人)が伝えたこと、彼らは大陸のことや大陸の言葉を知っていたこと、「魏志倭人伝」では「通訳の通じるところは30」と記されていることなどを根拠に書くと説得力のある文章になります。

IIの(11)では、「魏志倭人伝」に女王の塚(墓)は、「直径100余歩」とあるので円形の古墳(円墳)だと分かります。したがって、正解は「オ」。

IIIの(2)では、「もともと武器であった銅剣や矛も、日本では」どのように使われたかを説明するのですから、「戦いに使った」は解答にはなりません。祭りの宝物だったので。これは、教科書に記述があります。

IIIの(5)では、鉄器の「武器以外の使い方」についての説明文を書くことを求めています。多くの人が「農具に使った」と書いていましたが、設問は紀元前4世紀ころですから、農具に使うほど鉄はありませんでした。日本では鉄が産出されないから（今日でも採掘できません）。この時代では、鉄はとても高級品だったので。だから、農具に利用することなどは無理で(民衆には手が届かなかつた)、建物を建てたり、船を造るために必要な、木を削るための斧やノミなどの道具に鉄は利用されました(ノコギリはまだありません)。このことも教科書に結論だけが書かれています。

IIIの(6)では、豪族や王がどのような存在であったかを説明することを求めています。縄文時代には存在しなかつた、「支配者」が登場したことを説明することが重要です。「偉い人」ではありません。民衆を支配し、税を取る地位が弥生時代に登場したことを説明することが必要です。「支配」という言葉がポイントです。

IVの(1)は、大和政権が古墳時代に登場したことを理解しているかどうかを試しています。漢字が難しく、誤りやすいのですが、板書をノートに移す時点で誤っている人が多いことに驚かされます。たとえば、「墳」のつくりの下は「貝」です。「見」ではありません。正確に、教科書で確認しながらノートに字を書きましょう。

また、「右のノート」に書き込む内容は、必ず書籍で正確なことを確認してから書くようにして下さい。「ズサン」なノート作成は高い学力を生みません。

IVの(3)と(4)では、地図上で、歴史的なできごとの位置を示すことができるかどうかを試しています。教科書や「**なんてやねん**」の地図は、必ず確認しておきましょう。